

2005 AORN CONGRESS(米国手術部学会)参加レポートその1

1. はじめに

平成 17 年 4 月 2 日～8 日までの 7 日間、米国ルイジアナ州ニューオーリンズで開催された AORN CONGRESS (米国手術部学会) に参加し、当社としてのコンサルテーションスキルの蓄積と顧客に対する情報提供を行うことを目的に、米国における最新の医療事情、経営管理システム、手術部運営管理システムに関する情報収集を行った。以下にその一部をレポートする。

AORN とは、全米の各病院の手術部門に属する約 41,000 人の看護師を中心に構成されている。AORN は、手術部門に属するスタッフが正しい技術やサービスを患者に提供できるよう、手術部門における各種最新の情報を提供し、定期的に学会等を開催し、スタッフの教育を行っている機関である。

2. 「The Joy Of Caring」

4 月 2 日から開催された“2005 AORN CONGRESS (以下学会と省略する)”の 2 日目、今回の学会の目玉とも言えるセッションが開催された。会場は約 5,000 人もの人々で埋めつくされた。このセッションのスピーカーは、日本でも上映され話題となった映画「パッチ・アダムス」のモデルとなったパッチ・アダムス氏(本名：ハンター・アダムス) 本人であった。

パッチ・アダムス氏は、幼少時代に精神病を患い、精神病院に入院した経緯がある。そこでの生活や同室者との関わりを通して、「笑い」や「ユーモア」、「愛情」が人の心や病気を癒すことに気付き、医師になることを決意する。その後、ヴァージニア大学医学部を卒業し医師となるが、患者を無視したビジネスの為の医療提供や保険システムの影響で医療を受けたくても受けられない人が多くいる米国の医療提供体制に葛藤する日々を送る。そしてパッチ・アダムス氏は遂に、無料で患者を診察する病院施設を設立してしまう。このことが全米で注目され、遂には映画化された。

今回の学会でスピーチしたパッチ・アダムス氏は、医療技術や医療機器がいかに発展・進歩しようとも、治療の過程で最終的に患者が医療従事者に求めるのは、「愛情」であると強く呼びかけた。現在パッチ・アダムス氏は、ウエストバージニア州に病床数 40 床の新しい病院を建設中である。この病院には病室以外にも 60 床のこの病院で働く医師とその家族用のベッドが、40 床の看護師や看護学校からの研修生用のベッドが用意されている。パッチ・アダムス氏の下で働く医師や看護師の給料は月額\$300 にも係わらず、彼の下で働く事を希望する医師や看護師が後を絶たないという。

今回のパッチ・アダムス氏のスピーチは、患者数を如何に増加させるか、平均在院日数を如何に短縮させるか、材料費を如何に抑えるか等、病院の経営だけに着目してしまいがちな我々に、“患者の為の病院づくり”を重要視すべき本来のコンサルティングのあり方を再認識させられる内容であった。



3. 手術部門最新医療機器の展示会

今回の学会では、早朝 6:30 から 19:00 頃まで、大小様々な教室において、手術部門での感染症対策や最適な人員配置計画、患者の安全確保方法など、様々な題目を基に行われた勉強会の他に、569 のメーカーが出展した大規模な手術部門最新医療機器の展示会も同時に開催された。手術部門最新医療機器に関するレポートは次回報告予定である。

